

# 平成28年度 学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	15	学校名	県立常陸大宮高等学校				課程	全日制		学校長名	坂本 雅彦					
教頭名	齊藤 正一								事務長名	沼田 健一						
教職員数	教諭	38	養護教諭	1	常勤講師	2	非常勤講師	2	実習教諭 実習講師 実習助手	6	事務職員	3	技術職員等	3	計	58
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通科	10	13	10	15	11	14	/	/	31	42	3				
	機械科	26	0	34	0	30	1	/	/	90	1	3				
	情報技術科	16	1	30	1	23	0	/	/	69	2	3				
商業科	5	4	6	9	7	18	/	/	18	31	3					

## 2 目指す学校像

(1) 向上心を持ち自分に適した進路を実現できる学校
(2) 学習した知識や技能を基に資格等の取得ができる学校
(3) ルールやマナーを大切にする学校
(4) 特別活動が充実した学校
(5) 地域に根ざした信頼される学校

別紙様式1 (高)

3 現状分析と課題 (数量的な分析を含む。)

項目	現状分析	課題
学習指導	学習への取り組みが十分でなく、真の学力が身につけていない。	生徒一人一人の基礎学力の定着を図れるか。進学指導・課外指導の充実及び継続化を図れるか。
進路指導	コミュニケーション力が不足していることもあり、自己の能力を過小評価し、目標に向かって頑張る姿勢に欠ける。	勤労観、職業観を1年次から育成できるか。外部講師等の効果的な活用により進路指導の相乗効果を上げられるか。就職先の開拓をよりすすめられるか。個別面談により生徒の進路希望の状況を常に把握できるか。
生徒指導	遅刻・欠席や頭髪・服装に問題が残る者がいる。挨拶・マナーも十分とは言えない。	生徒指導全般において、未然防止を目的とした生徒指導の展開を目指せるか。全職員の共通理解・共通認識による共通実践を目指せるか。
特別活動	部活動加入者が減少し、活動実績も停滞している。また、生徒主体の行事や活動への取り組みも不十分である。	生徒が主体的に取り組める学校行事の企画・運営ができるか。全員の部活動加入制に対する指導の徹底を図り、部活動の活性化に努められるか。生徒会活動・学校行事・部活動の活動状況について、常陸大宮高校mailやHP等を利用し広報活動に努められるか。

4 中期的目標

(1) 「総合選択制」の主旨を活かし基礎学力を重視しながら、生徒の興味関心及び希望進路に応じた指導の充実を図るとともに、特色ある学校づくりに努める。
(2) 学習指導、キャリア教育、生徒指導等を一層充実させるとともに、特別活動を活性化させ、知徳体のバランスのとれた人材を育成する。
(3) 地域との密な連携協力を推進するとともに、本校からの積極的な情報発信を通して、地域から支持され、信頼される学校を目指し、本校への志願者数の増加に結びつける。

別紙様式1 (高)

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
教育課程の充実	<p>①【<b>現行実施している教育課程を検証し、より生徒の進路実現に対応した総合選択制を構築する。</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合選択制の幅を現状に合わせて見直し、科目群内の選択科目の精選を行う。</li> <li>・ 普通科,工業科,商業科のそれぞれの特色が最大限に発揮できる教育課程を編成する。</li> <li>・ 就職希望者,進学希望者のニーズに応えられる,柔軟性のある教育課程を編成する。</li> </ul>
学習指導の充実	<p>②【<b>分かる楽しさが実感できる授業を展開し、基礎学力の向上を図るとともに、専門性を高め進路に応じた十分な学力を身に付けさせる。</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業での学習内容の定着を通して、学ぶ姿勢の育成に努める。</li> <li>・ 基礎力確認課題,小テスト,補習などを適宜に実施し、個に応じた指導を展開することで、基礎・基本を確実に定着させる。</li> <li>・ 基礎学力向上推進委員会を中心に生徒の学力を分析し、基礎学力の定着を図る。</li> <li>・ 発展的な問題にも取り組ませるなど、大学進学等の進路希望を有する生徒に対する個別指導を充実させ、さらなる学力向上を図る。</li> <li>・ 生徒の実態に応じた教材研究,公開授業の積極的な参観,教科内の連携・研修等を通して、学習指導の質的向上を図る。</li> </ul>
進路指導の充実	<p>③【<b>キャリア教育を推進し、望ましい勤労観・職業観を育成して、多様な進路目標の実現をはかる。</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聞く力,表現する力,態度・マナーなどを身に付けさせる「3年間を見通した指導体制」を構築し、生徒のコミュニケーション力の向上を図る。</li> <li>・ 外部講師等の人材を有効に活用するとともに、インターンシップや進路説明会に主体的に参加させることにより、進路意識の高揚を図る。</li> <li>・ 向学心を高揚させ、適切で継続的な課外指導を実施することで、大学進学にも十分対応できる学力を身に付けさせる。</li> <li>・ 資格取得の奨励を通して、より確かな進路実現を図る。</li> </ul>
生徒指導の充実	<p>④【<b>基本的な生活習慣の確立と規範意識の高揚に努める。また、人間としての在り方生き方に関して考察を深め、豊かな心の育成を図る。</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒面談,家庭訪問,ホームルーム活動を通して生徒理解に努める。</li> <li>・ 頭髪・服装指導や遅刻防止等の徹底に努め、基本的な生活習慣の確立を図る。</li> <li>・ 挨拶・マナーを確実に身に付けさせ、規範意識や社会性の育成に努める。</li> <li>・ ボランティア活動を促し、人間としての在りかた生き方を考えさせることで、社会の一員として主体的に生活することができるようにする。</li> <li>・ 特別指導を充実させ、問題行動の未然防止及び再発防止を図る。</li> </ul>
特別活動の活性化	<p>⑤【<b>生徒会活動・部活動等の活性化を図り、充実感・達成感を味わえる、明るく活気ある学校づくりに努める。</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年生全員に部活動入部を促し、学校の活性化を図るとともに、規律ある生活態度や自律性に富む生徒の育成を図る。</li> <li>・ ホームルーム活動,委員会活動や生徒会活動の充実を図り、生徒一人一人が自主的・主体的に参加できるよう支援する。</li> <li>・ 地域の行事やボランティア活動にも積極的に参加するよう生徒を促し、本校生徒の姿を地域にPRするとともに、地域との連携を図る。</li> </ul>
地域連携の推進	<p>⑥【<b>地域との交流を深め、学びを積極的に発信し、地域から信頼される活力ある学校を目指す。</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページや広報紙等の充実を図り、保護者・地域,中学校等への積極的な情報の提供に努める。</li> <li>・ 学校外からの声も積極的に取り入れ、学校・家庭・地域社会が相互に連携・協力した教育を推進する。</li> </ul>